



3年学年便り 第2号(5月)

金沢桜丘高校 3年学年会 平成30年5月15日

風がさわやかな季節となりました。保護者の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。生徒達は中間試験が終わると、5月31日から始まる最後の県高校総体・総文に向けて、日々練習に励む事になります。3年間の成果として『後悔のない完全燃焼』を目指して欲しいと思います。

さて、高校総体・総文が終わりますと、「完全なる受験体制」に移行します。最初の一週間が勝負です。例年、ここできちんと「切り替え」の出来た生徒が第一志望校に合格しています。学年集会等でも指導しますが、ご家庭においても激励と体調管理をお願い致します。

1. 陸上競技大会

一生懸命に走り・投げ・跳びました!

総合優勝：309H、総合二位：304H

5/8(火)に金沢市営陸上競技場で第31回の陸上競技大会が行われました。終日、曇天の中でしたが、生徒たちは元気一杯に頑張っていました。総合成績では3年生の意地を見せ、多くのクラスが上位に入賞しました。

特に、最後のリレーの際には、各クラスが一体となってスタンドから大きな声や拍手で応援していました。

桜高新聞の速報版には「みんなで協力して取れたのでうれしかったです。これからの行事も、この団結力で頑張っていきたいです。」「自分一人ではなく、沢山の人の協力があるので優勝です。クラスのみんにて恩返しが出来て良かったです。」とのコメントが載っていました。

生徒たちはもちろん、先生方・各部活動の協力を得て準備や後片付けも非常にテキパキと行われ、とても爽やかな一日でした。



【スウェーデンリレー 優勝 302H】

2. PTA 総会

沢山のご参加ありがとうございました!

5/12(土)にPTA総会が行われました。沢山の3年保護者へ出席して頂きありがとうございました。

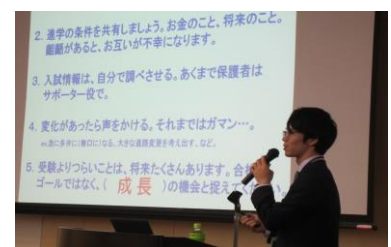
5限目には授業参観、6限目には全体会、7限目には視聴覚室で学年別保護者会が行われました。「**受験生の保護者としての心構え**」と題した進路講演会(河合塾講師)では、メモを取る姿も見られ大変熱心に聞いて頂きました。



【PTA会長挨拶】

【進路講演会 要旨】

- 「入れる大学」ではなく「**入りたい大学**」を目指す
- **授業第一主義** 学校の授業・教材・先生を信じる 徹底理解を
- **不得意科目・分野の克服** 受験の可否は総合点
総体総文後は平日4時間、休日8時間以上の集中学習
- **家族は受験生をどう支えるか**
 - 他人と比較しない ○進学の条件を共有する(お金の話も)
 - 変化があったら、声をかける(それまではガマン…) ○受験勉強≒成長の機会



3. 3年ホーム担任からの激励

各先生方からの熱いメッセージ！

勉強も部活動も『勝ち』を目指し、「本気」で取り組む事が一番大切だと考えておりますが、時には挫折や障害、困難に直面する事もあるかも知れません。

そこで、今月から毎月2人のホーム担任が、各クラスで話している「激励やアドバイス」を載せ、先生方の熱いメッセージを学年全体で共有していきたいと思っております。

【301H担任】

『偶然と運と出会い』の話 (知っているかもしれませんが)



毎年10月に、ノーベル賞の発表がある。平成12年名古屋大学の野依良治氏がノーベル化学賞を受賞した。彼は「失敗ばかりで、まったく偶然に偉大な事実を発見できた」と言う。そして、「私には才能がないので人が80%で済ませることを、私は120%でやらなければならなかった」と言う。たっぷり勉強すれば、神様が贈ってくれる偶然をつかむことができるということである。これは、上村先生がよく言う、フランスの細菌学者の言葉「**偶然は用意できている人間だけに微笑む**」につながる。

話は変わるが、みなさんはスポーツキャスターの古田敦也（前ヤクルトスワローズ捕手）をご存じでしょうか？彼は私の「お気に入り」でした。彼のキャッチャーとしてのリード、実績、経歴、そして選手会会長としてストライキの時の涙など、大変存在感がある人物だ。

彼の経歴は面白い。古田少年は兵庫県立川西明峰高校に進学している。この高校は夕方5：30に一斉下校、違反は1週間の部活禁止。朝練は禁止。グラウンドは他の部と共用。と甲子園には縁のない学校である。（超進学校というわけでもない）

そして高3の夏は県大会2回戦で敗退。その後、高校の野球部の監督の勧めで、勉強して、立命館大学に進学し、野球部へ。大学入学後、日々の「シゴキ」に耐え、1年から一軍。大学卒業時はドラフト候補だったが、指名されずトヨタに入社。日本代表に選ばれ、オリンピックで銀メダルを獲得し、2年後にヤクルトスワローズにドラフト2位で指名された。ここで、古田敦也は野村克也監督（元楽天イーグルス監督）に出会う。そして野村監督に厳しく鍛えられ、過去有数の名キャッチャーに育った。高校時代までは野球のエリートコースとは全く関係のない経歴であるが、一つひとつに高い志を持って努力をし続けたことが、古田敦也を作ったのだろう。

野村との出会いは、「**用意ができている人間だけに微笑む偶然**」であったのだろうか。

努力して、**偶然と運を感じるころまで成長したい。**

そして、**神様の贈ってくれる偶然と運をつかみたい！**



1 次の英文の言いたいことを、受験勉強に置き換えて説明しなさい。

“Pain is inevitable. Suffering is optional.

Say you're running and you think, 'Man, this hurts, I can't take it anymore.

The 'hurt' part is an unavoidable reality, but whether or not you can

stand anymore is up to the runner himself.”



<模範解答>

走る際の痛みは避けることができないが、苦しむかどうか、それに耐えるかどうかは自分次第である。

受験勉強においても、つらいこと（時間、成績など）は避けられないが、

それをつらいと思うか、耐えるかどうかは自分次第である。

私の好きな本からの引用でした。単語、文法は基本的なものです。分からなかったら調べておきましょう。

どうしようもないことがあっても、それをどう解釈し、どう行動するかは自分次第です。

まずは、できないことよりも「出来ることを！」

「石川県で一番大きな声で、挨拶が出来、校歌が歌える学校にしたい！」

(H30「今年目標」始業式 学校長訓示)

【5月中旬から6月の行事予定】

5月15日（火）～18日（金）1学期中間試験

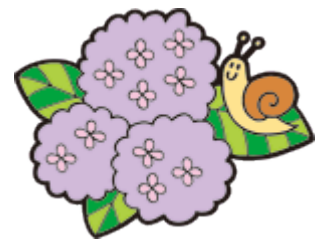
5月31日（木）～6月3日（日）県高校総体・総文

6月 8日（金）業後、9（土）進研マーク模試

16日（土）～17（日）北信越高等学校体育大会

21日（木）1学期期末試験時間割発表

28日（木）～7月3日（火）1学期期末試験



【文責：3学年主任 上村純一】